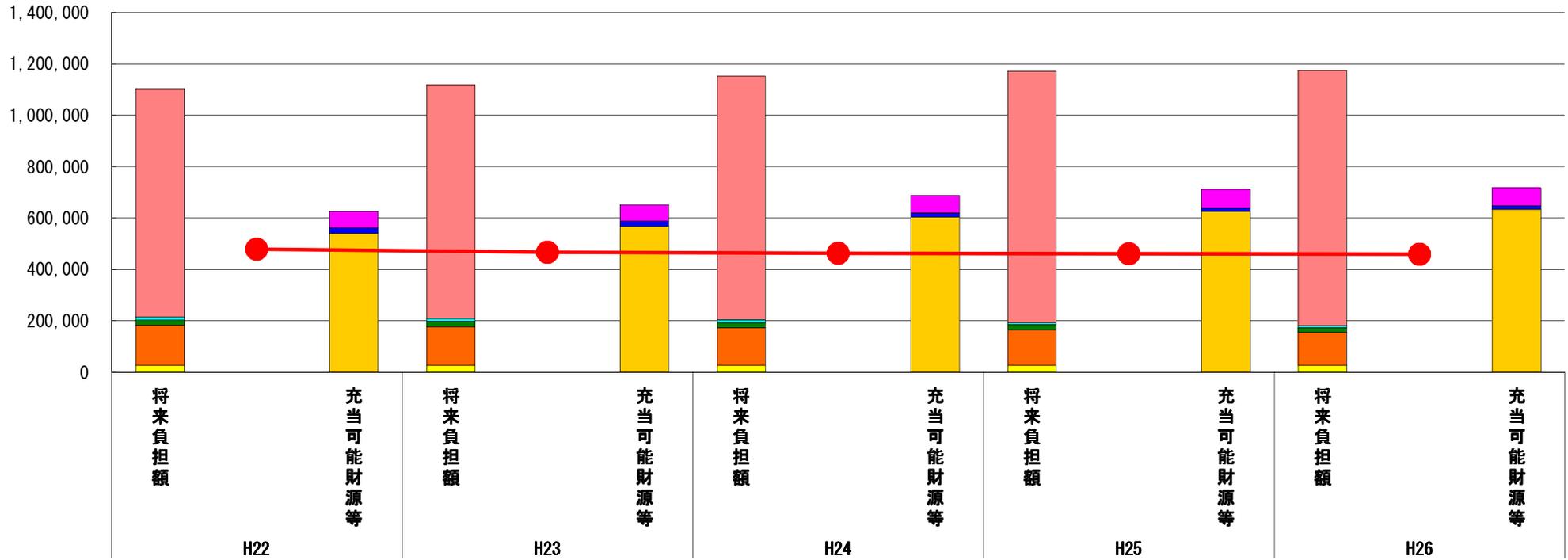


(8) 将来負担比率（分子）の構造（都道府県）

平成26年度

和歌山県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		890,524	910,361	949,365	977,993	993,079
	債務負担行為に基づく支出予定額		11,862	10,884	9,822	8,830	7,896
	公営企業債等繰入見込額		19,031	19,906	19,333	18,693	18,155
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		156,545	151,333	146,278	139,466	129,154
	設立法人等の負債額等負担見込額		26,582	25,818	26,382	26,007	25,504
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		65,236	64,311	68,427	70,901	69,102
	充当可能特定歳入		21,565	18,543	15,686	14,269	14,192
	基準財政需要額算入見込額		539,404	568,575	603,719	624,617	632,838
(A) - (B)	将来負担比率の分子		478,339	466,873	463,348	461,201	457,655

分析欄

一般会計等に係る地方債の現在高は臨時財政対策債等の発行増に伴い151億円増加したものの、退職手当の支給水準の引き下げに伴い、退職手当負担見込額が103億円減少したこと等により、将来負担額は前年度に比べ28億円の減少となった。

さらに、控除すべき基準財政需要額算入見込額が82億円増えたこと等により、将来負担比率の分子は前年度に比べて35億円減少した。

今後は、予算の収支不足を補うための退職手当債や行政改革推進債等の発行により、将来負担は増加していくおそれもあるため、事業の効率化・重点化により県債発行を抑制するなど行財政改革の推進により健全化を図っていく。